

IG再保険プログラム（2022保険年度）

＜その他P&Iクレーム＞								約89億4千万米ドル			
Pool (Overspill) (約56億5千万米ドル)								31億米ドル	4		
Collective Overspill Layer (10億米ドル) Excess of underlying				＜船客+船員クレーム＞				30億米ドル			
								21億米ドル			
4th Layer **** (6億米ドル) Excess of underlying				＜船客クレーム＞				20億米ドル			
								15億米ドル			
3rd Layer **** (7.5億米ドル) Excess of underlying				＜油濁クレーム＞				10億米ドル	3		
								3rd Layer **** (2.5億米ドル) Excess of underlying			
*** 10% share	** 10% share	* 10% share	2nd Layer **** (2億米ドル) 70% share		*** 10% share	** 10% share	* 10% share	2nd Layer **** (2億米ドル) 70% share		5.5億米ドル	
		1st Layer (4.5億米ドル) 70% share with annual aggregate deductible of \$100m being covered by Hydra				1st Layer (4.5億米ドル) 70% share with annual aggregate deductible of \$100m being covered by Hydra				1億米ドル	
7.5% クレーム提起 クラブ保有			Upper Pool (5千万米ドル-1億米ドル covered Hydra)							5千万米ドル	2
Lower Pool (3千万米ドル-5千万米ドル covered Hydra)								3千万米ドル			
Lower Pool (1千万米ドル-3千万米ドル)								1千万米ドル			
クラブ保有								0	1		

- 1千万米ドルまで
クラブ保有額と称し、各クラブの自己負担。
- 1千万米ドルから1億米ドルまで
プールと称し、IG加盟13クラブが各々の分担率に基づき分担。
なお、プール部分のうち3千万米ドルから1億米ドルまではHydraへ出再。
- 1億米ドルから21億米ドルまで
Lloyd'sを中心とする再保険マーケットで再保険を購入。
(*、**および***は、Private Placementと呼ばれる複数年契約定期再保険)
1st Layerから4th Layerに分かれており、各Layerごとに参加している再保険会社異なる。
1st Layer: 1億米ドルから5.5億米ドルまで。
2nd Layer: 5.5億米ドルから7.5億米ドルまで。
3rd Layer: 7.5億米ドルから15億米ドルまで。
4th Layer: 15億米ドルから21億米ドルまで。
なお、1st Layerのうち、70%はマーケット再保険者に出再、同再保険カバーには1億米ドルの免責金額が設定されている。同免責額まではHydraがカバーする。

*** 悪意のあるサイバー攻撃、新型コロナウイルス、その他新型の感染症に起因する損害については、合計21.5億米ドルの年間累積回収限度額が設定されている。
2nd Layer: 年間累積回収限度額: 合計8億米ドル (油濁クレームとその他P&Iクレームに対し、それぞれ年間4億米ドルの限度額あり)
3rd Layer: 年間累積回収限度額: 7.5億米ドル (油濁クレームは1事故あたり最大2.5億米ドル)
4th Layer: 年間累積回収限度額: 6億米ドル
- 21億米ドルから約89億4千万米ドルまで
オーバースpillと称し、IG全クラブメンバーで分担し、その資金は各クラブがメンバーに請求する分担金(オーバースpill保険料)により賄う。
なお、オーバースpillのうち、21億米ドルから31億米ドルの部分についてはマーケットで再保険を購入しており、この部分については同再保険で賄われる。

なお、油濁損害については10億米ドル、船客にかかわる責任は20億米ドル、船客と船員にかかわる責任は30億米ドルの上限が設定されている。